

1. 実施計画策定にあたっての留意事項

①重点課題への対応

基本計画における重点課題に対応する事業の優先化

子育て世代の定住促進と出生率向上	医療・福祉ニーズの増加に備えた健康寿命の延伸	多様性を意識した施策展開	激甚化する災害・感染症の対応
地域経済の活性化	カーボンニュートラルの実現	地域コミュニティの再構築	デジタル化による生活の利便性向上

②「総合計画」と「まち・ひと・しごと総合戦略」との統合

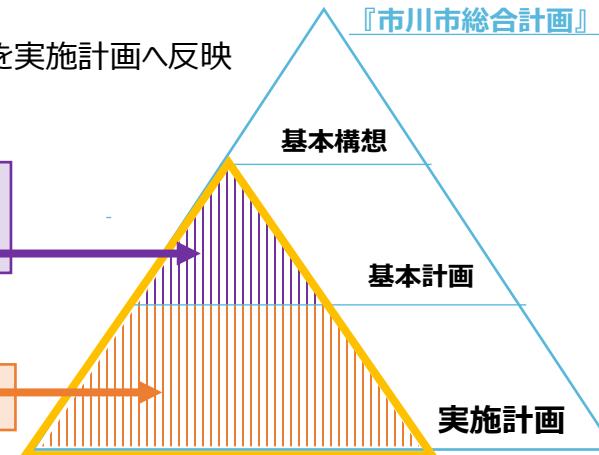
出生率向上、定住促進、少子高齢化対策など、まち・ひと・しごと総合戦略の考えを実施計画へ反映

基本計画部分

- 『本市の重点課題』において、「子育て世代の定住促進と出生率向上」「地域経済の活性化」などを位置づけ、総合戦略との関係を明確化

実施計画部分

- 地方創生に関する事業の具体的な記載が必要



③指標の設定

基本計画における指標が『市民満足度』のみとなっており、施策レベルでの評価指標が必要。
まち・ひと・しごと総合戦略の統合に伴い、総合戦略に対応する施策においては指標の設定が必要

2. 実施計画での対応

○重点課題対応事業の選定

- 各施策分野において、重点課題に対応する事業を『重点課題対応事業』とし、計画期間中の事業進捗を管理。
- 重点課題対応事業は一覧ページで表記し、各事業が連動して課題に対応することを明確化。

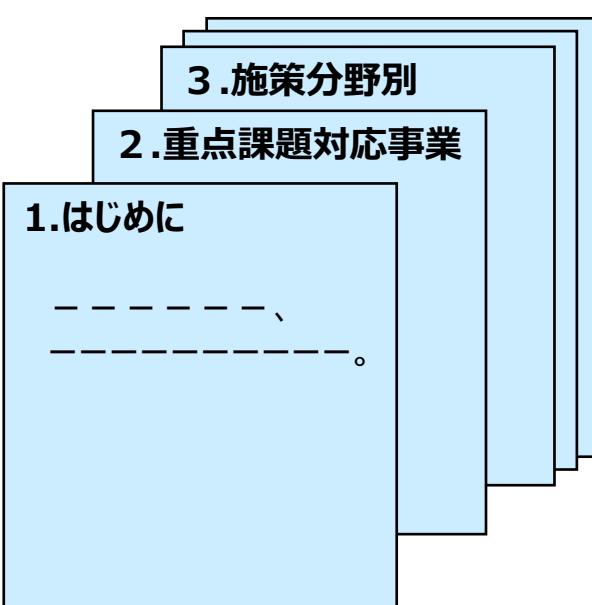
○総合戦略事業の明確化

- 過去の総合戦略該当事業に加え、「定住促進」や「出生率向上」「市内経済の活性化」など、地方創生に通じる事業については、総合戦略事業としてアイコンにより明記する。

○指標の設定 (KPI)

- 第二次基本計画における「代表的な指標」に該当する項目を、各施策分野に表記。
- 総合戦略関連事業のある施策分野は、地方創生につながる指標設定とする。

3. 実施計画構成案



記載イメージ

重点課題対応事業

3年間の短期間の計画となることから、効果的に施策を推進するために、以下のとおり重点課題に対応してまいります。

まちづくりの目標	重点課題	対応事業
健やかに暮らせるまち	子育て世代の定住促進と出生率向上	○事業 (子育て) △事業 (子どもの教育)
安心して快適なまち	医療・福祉ニーズの増加に備えた健康寿命の延伸	□事業 (保健・医療) ●事業 (道路・交通)
	

施策分野別 実施計画事業

01 保健・医療

重点課題対応事業

事業名	総合戦略
事業概要	
対応する重点課題	
予算	
数値目標	

※ 各施策2事業程度選定
数値目標等進捗管理

基本事業

事業名	
事業概要	

中分類に対応する事業を選定
予算等記載せず事業概要のみ記載

指標設定

評価指標	現状値	目標値
.....	○○%	↗
.....	○○人	現状維持

各事業の実施により達成する指標

4. 数値目標・指標の設定

○重点課題対応事業の数値目標等設定

：重点課題に対応する事業について、3年間の事業概要、予算、数値目標を設定し、計画期間中の進捗を確認する。

※例 主な数値目標
下水道

事業名	公共下水道汚水事業					
事業概要	市川市汚水適正処理構想に基づき、公共下水道整備を進める。					
予算	R5年度	〇円	R6年度	〇円	R7年度	〇円
数値目標	年度工事の進捗率：100%					

○実施計画施策別に目標となる指標を複数設定

：第二次基本計画において『代表的な指標』とされていたものと同程度の指標を施策ごとに設定
「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の関連事業のある施策については、地方創生につながる指標（重要評価指標）を設定

※例 指標設定
下水道

指標	現状	目標
下水道普及率	〇〇%	〇〇%

5. 評価

実施計画

第三次基本計画

①重点課題対応事業の
進捗評価
※年度ごとに実施

- ・予算の執行状況
- ・数値目標の達成状況

②施策指標の
達成別度評価
※年度ごとに実施

- ・指標ごとの達成状況

- ・年度ごとに進捗を確認
- ・内容に応じて、事業の見直し等を実施
※感染症の影響等の分析も実施

③施策別市民満足度評価
※令和6年度末実施

- ・市民アンケートにより、評価を実施
- ・施策の取り組み状況を紹介したうえで施策別満足度を確認

- ・市の取り組み（実施計画事業）が市民満足度や、未来へのアプローチの実感につながっているのか分析を行う。

④未来へのアプローチの評価
※令和6年度末実施

- ・市民アンケートにより、未来へのアプローチを実感している市民の割合を評価

すべての評価は次期総合計画策定のための検討材料とする